

藤本観音山古墳(足利市)

正面が藤本観音山古墳/4世紀代の前方後方墳/左手が前方部(二段築成)、右手が後方部(三段築成)/南側から見たところ



後方部からアプローチしよう



後方部の東側の墳丘裾の右手は住宅地となっている/左手に説明板が立っている



藤本観音山古墳と記された標柱も立っている



史 跡

藤本観音山古墳

藤本観音山古墳は、足利市の南端地域を流れる矢場川の南岸台地上にある全長約一一六メートルの前方後方墳で、前方部を北西方向の平野部へ向けている。

指定範囲は総面積五、六八八平方メートルで、後方丘の高さ約十メートル、前方丘の高さは四・五メートルで、周濠も前方部は狭い標柱を示している。

昭和五十九・六十年度的に、足利市教育委員会が調査主体となり範囲確認調査が行われた。この調査によって周濠を今めた全長は二一〇・五メートルに及ぶことが確認された。

後方丘の頂部には堅穴系の埋葬施設の所在が想定され葺石や古式土師器等も検出された。

この古墳の築造年代は四世紀代と考えられた。当地方における最大級の首長墳である。

(昭和三十年七月二十五日 足利市指定)

平成二年十二月十五日

財団法人足利市民文化財団

足利市教育委員会

後方部の墳丘へとこの階段を登ってみよう



石造の小祠が並んでいる



ここが後方部の墳頂/前方は前方部方向(西方向)



前方部を見下ろしたところ/左手前の部分は以前住宅が建っていたために相当削平されてしまっている



振り返って見たところ/先程の小祠が見える



これは小祠のところから登って来た階段を見下ろしたところ



さて、後方部から時計回りに墳丘を一周してみよう



これはくびれ部と前方部を見たところだが、前方部は手前の辺りが相当削平されているのが見てとれる/右端は後方部の裾



正面中央がくびれ部で右手が後方部/くびれ部と左手の前方部はここに以前住宅があったため削平されている



ここで左手を見たところ/向こうの方には前方部の高まりが残っている



この高まりが本来の前方部



前方部の墳頂に登り、その先(西方向)を見たところ



振り返って後方部方向(東方向)を見たところ/ここでも正面中央から右手にかけて前方部が削平されているのが見てとれる



これは左手を見たところ



これは左手の前方部墳丘裾から後方部方向を見たところ



これは反対にくびれ部から前方部方向を見たところ



これは削平されてしまった前方部から後円部方向を見たところ



これは前方部裾から後円部方向を見たところ



少し退いて見たところ



さて、これは墳丘全体を西側から東方向に見たところ



前方部の西側を北側から南方向に見たところ/周堀のイメージが湧く



北西側から見たところで右手が前方部



これはくびれ部の北側辺りだが、産廃置き場となっていた



正面は北側から見た後方部



これは後方部の墳丘の裾/裾に沿って道路が回り込んでいる



後方部の東側裾を北側から南方向に見たところ



その先がここに至る/ここが最初に後方部に登ったところ



参考ホームページ

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/asikaga_huzimoto2/

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/tochigi/02_ashi/fujimoto.html

http://kofunmoodys.fc2web.com/asikaga_4_yaba.html

<http://mj-ktmr2.digi2.jp/p09tg/tpx1411226kannon.htm>

<http://bunka.nii.ac.jp/heritages/detail/192712>

<http://members3.jcom.home.ne.jp/kofun2-hp/totiasika.htm>

